



教育目標に定める専門職医療人の人材を育成するために、本学の学修内容に強い関心と意欲を有しているのと同時に、専門知識修得のために最低限度必要な高等学校までの基礎学力、さらには主体的な行動力・協働力を兼ね備えて入学してくることを求めています。具体的には以下のような人物像を求めます。

- ①医療職の仕事を理解し、医療に関する学修を継続的に続ける意欲がある。
- ②高等学校の教育課程において、文系理系を問わず幅広く教科・科目を修得している。
- ③他者と協働できるコミュニケーション力、思考・判断力を有している。
- ④自分のため、人のために努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。

①～④の評価は、入試制度の特徴に合わせて以下の選抜方法を組み合わせて行います。

- 国語、英語、数学、生物、化学、物理に相当する科目
- 面接
- 調査書（評定値、資格取得、課外活動などを評価）
- 小論文



教育目標に定める専門職医療人の人材を育成するために、本学の学修内容に強い関心と意欲を有しているのと同時に、専門知識修得のために最低限度必要な高等学校までの基礎学力、さらには主体的な行動力・協働力を兼ね備えて入学してくることを求めています。具体的には以下のような人物像を求めます。

- ①医療職の仕事を理解し、医療に関する学修を継続的に続ける意欲がある。
  - ②高等学校の教育課程において、文系理系を問わず幅広く教科・科目を修得している。
  - ③他者と協働できるコミュニケーション力、思考・判断力を有している。
  - ④自分のため、人のために努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。
- ①～④の評価は、入試制度の特徴に合わせて以下の選抜方法を組み合わせて行います。
- 国語、英語、数学、生物、化学、物理に相当する科目
  - 面接
  - 調査書（評定値、資格取得、課外活動などを評価）



教育目標に定める専門職医療人の人材を育成するために、本学の学修内容に強い関心と意欲を有しているのと同時に、専門知識修得のために最低限度必要な高等学校までの基礎学力、さらには主体的な行動力・協働力を兼ね備えて入学してくることを求めています。具体的には以下のような人物像を求めます。

- ①医療職の仕事を理解し、医療に関する学修を継続的に続ける意欲がある。
  - ②高等学校の教育課程において、文系理系を問わず幅広く教科・科目を修得している。
  - ③他者と協働できるコミュニケーション力、思考・判断力を有している。
  - ④自分のため、人のために努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。
- ①～④の評価は、入試制度の特徴に合わせて以下の選抜方法を組み合わせて行います。
- ・ 国語、英語、数学、生物、化学、物理に相当する科目
  - ・ 面接
  - ・ 調査書（評定値、資格取得、課外活動などを評価）



教育目標に定める専門職医療人の人材を育成するために、本学の学修内容に強い関心と意欲を有しているのと同時に、専門知識修得のために最低限度必要な高等学校までの基礎学力、さらには主体的な行動力・協働力を兼ね備えて入学してくることを求めています。具体的には以下のような人物像を求めます。

- ①医療職の仕事を理解し、医療に関する学修を継続的に続ける意欲がある。
  - ②高等学校の教育課程において、文系理系を問わず幅広く教科・科目を修得している。
  - ③他者と協働できるコミュニケーション力、思考・判断力を有している。
  - ④自分のため、人のために努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。
- ①～④の評価は、入試制度の特徴に合わせて以下の選抜方法を組み合わせて行います。
- 国語、英語、数学、生物、化学、物理に相当する科目
  - 面接
  - 調査書（評定値、資格取得、課外活動などを評価）



教育目標に定める専門職医療人の人材を育成するために、本学の学修内容に強い関心と意欲を有しているのと同時に、専門知識修得のために最低限度必要な高等学校までの基礎学力、さらには主体的な行動力・協働力を兼ね備えて入学してくることを求めています。具体的には以下のような人物像を求めます。

- ①医療職の仕事を理解し、医療に関する学修を継続的に続ける意欲がある。
  - ②高等学校の教育課程において、文系理系を問わず幅広く教科・科目を修得している。  
※ただし理系科目は必ず修得していること
  - ③他者と協働できるコミュニケーション力、思考・判断力を有している。
  - ④自分のため、人のために努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。
- ①～④の評価は、入試制度の特徴に合わせて以下の選抜方法を組み合わせて行います。
- 国語、英語、数学、生物、化学、物理に相当する科目  
※文系科目（国語、英語）のみの選択は不可
  - 面接
  - 調査書（評定値、資格取得、課外活動などを評価）



教育目標に定める専門職医療人の人材を育成するために、本学の学修内容に強い関心と意欲を有しているのと同時に、専門知識修得のために最低限度必要な高等学校までの基礎学力、さらには主体的な行動力・協働力を兼ね備えて入学してくることを求めています。具体的には以下のような人物像を求めます。

- ①医療職の仕事を理解し、医療に関する学修を継続的に続ける意欲がある。
  - ②高等学校の教育課程において、文系理系を問わず幅広く教科・科目を修得している。  
※ただし理系科目は必ず修得していること
  - ③他者と協働できるコミュニケーション力、思考・判断力を有している。
  - ④自分のため、人のために努力を惜しまず、最後までやり遂げることができる。
- ①～④の評価は、入試制度の特徴に合わせて以下の選抜方法を組み合わせて行います。

- 国語、英語、数学、生物、化学、物理に相当する科目  
※文系科目（国語、英語）のみの選択は不可
- 面接
- 調査書（評定値、資格取得、課外活動などを評価）



1. 本学の建学の精神及び教育理念を十分に理解し、母子と次世代家族の健康を守ることを通じて社会に貢献しようとする志を強く有する方
2. 「生命の誕生」に、責任を持って真摯に向き合える誠実さを有する方
3. 一人の人間としての豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性を有する方
4. 高度な専門知識を身につけようとする意欲を有し、継続して努力ができる方
5. 広い視野で現代社会における次世代家族をとらえ、母子保健を取り巻くさまざまな課題の解決について情熱をもって追究できる方



高度な専門的職業人を育成するために、本大学院の学修内容に強い関心と意欲を有しているのと同時に、専門的知識・技術の修得のために最低限度必要な医療系大学学士レベルの基礎学力、専門知識、さらには主体的な行動力・協働力を兼ね備えて入学してくることを求めています。具体的には以下のような人物像を求めます。

- ①【専門的知識】保健医療学分野における学士レベルの基礎学力と専門知識を有している。
- ②【他の医療職・医療体系への関心】患者個別の事情や価値観によってさまざまな医療の選択肢があることを認識し、自分の医療資格の範囲だけでなく他の医療職や医療体系を理解することに強い関心と意欲を有している。
- ③【協働能力とコミュニケーション力】他者と協働できるコミュニケーション力、思考力、及び判断力を有している。
- ④【学修努力の覚悟】修士の学位をもつ高度な専門的職業人になるため、知識・技術・人間性を高める努力を惜しまず、最後までやり遂げる覚悟がある。

入学試験において、上記①を筆記試験、②を出願時提出書類と面接試験、③④を面接試験によって評価する。





医療関連施設で指導的役割を担うことができる高度な専門的職業人を育成するために、本大学院の学修内容に強い関心と意欲を有しているのと同時に、専門的知識・技術の修得のために最低限度必要な医療系大学院修士課程レベルの基礎学力、語学力、専門知識、さらには主体的な行動力・協働力を兼ね備えて入学してくることを求めています。具体的には以下のような人物像を求めます。

- ①【基礎的な論文読解能力】自分が専攻しようとしている領域の日本語と英語の先行研究論文の読解・解釈ができる基礎的な知識と技術を有している。
- ②【基本的な文章構成能力】自分の考えを論理的にまとめて文章表現できる基本的な知識と技術を有している。
- ③【医療科学研究への熱意】臨床に役立つ医療科学の研究に専念して、人々の健康に貢献したいという強い熱意と意志をもっている。
- ④【指導者・管理者としての自覚】医療分野における指導者あるいは管理者となって人材の育成や臨床・教育・研究の発展に身を捧げる覚悟がある。

入学試験において、上記①を論文読解試験、②を小論文試験、③④を出願時提出書類と面接試験によって評価する。



## 【禁煙への取り組み】

本学では、学生の健康を確保するため、また医療人を育成する大学の責務として、大学全敷地内および大学周辺の全面禁煙化を実施しています。入学者は大学敷地内および大学周辺での喫煙行為を行わないことを約束できる方とします。